

おぐにの未来を考える会議 ワークショップ通信 No.1

2016. 12. 21

■「おぐにの未来を考える会議」はじまりました！

平成28年11月29日(火)に第1回目が開催された「おぐにの未来を考える会議」。会場には高校生から60代までの小国町民の皆さん25名が集いました。この会議は、「おぐに開発総合センター」の老朽化等による建て替え計画に伴い、よりこれからの社会や住民ニーズに合った施設にするため、利用者となる住民の皆さんから、地域づくりや次期総合センターの施設機能について多様な意見をうかがう事を目的としています。



■「ワークショップ」で意見交換

自由にのびのびと意見交換ができるように、会議は「ワークショップ」形式で進められました。5人一組に分かれ、「小国町の好きなところ」をテーマにした自己紹介からスタート。お茶を飲んだりお菓子をつまみながらの話し合いに、はじめはちょっと緊張気味だった高校生も、次第にリラックスして活発に意見を話してくれました。

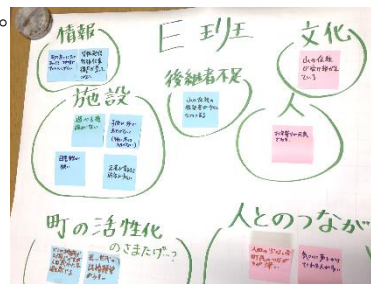


ワークショップとは・・・

多様な視点を持った参加者が
対等に話し合うことで、
その場でしか生まれない
アイデアや気づきを、皆で
創り出していく話し合いのこと。

■町の「良いところ」と「気になるところ」

小国のまちづくりの中核となる次期総合センター。施設の具体的な中身に入る前に、「目指したい町」について皆で考えます。その前段として、町の現状について意見交換を行いました。ピンクの付箋に「良いところ」、水色の付箋に「気になるところ」について各自書き、グループ毎に模造紙にまとめて共有しました。各グループから出された意見の一部を紹介します。



良いところ

- ・地域のひとが優しい
- ・人と人の繋がりが深い
- ・自然が豊かで四季を楽しめる
- ・山の伝統が受け継がれている
- ・子どもがのびのび遊べる(川で釣りなど)
- ・木質燃料の宝庫
- ・事業的にチャンスがある

気になるところ

- ・交通の利便性が低い
- ・何をするにも町外に出ないといけない(買い物、遊びなど)
- ・仕事を選ぶのに制限がある
- ・地元に残る若者が少ない
- ・子育て世代の交流、イベントが少ない
- ・町の良さを外へ発信できてない

■こんな町になったらいいな！

町の現状を踏まえ、「〇年後、こんな町になったらいいな！」をテーマに目指したい町の将来像について一人につき2つ、短文のキーワードを出し、全体で共有しました。キーワードを年代別に整理すると、以下のような傾向が見えて来ました。

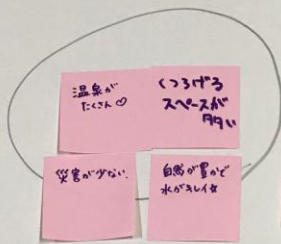
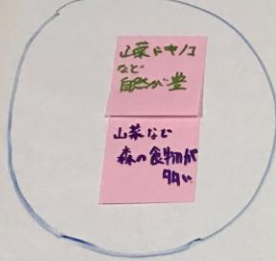
- 10代・・・町の魅力を発信して内外から人々が集まり、交流が生まれる、活気にあふれたまち
- 20代・・・働く場や仕事生まれ、若者がいきいきと暮らすことのできるまち
- 30代・・・町の魅力を発信しながら様々な年代の交流が活発に行われ、あらゆる世代にとって暮らしやすいまち
- 40代・・・自然と共生する価値や、そこに住むことの誇りを大切にすまち
- 60代・・・若者の定住や、観光・交流を通じて、地域社会の持続が図られるまち

第2回の会議では、目指したい町の将来像に向かうために、次期総合センターに必要な施設機能のついて考えます。



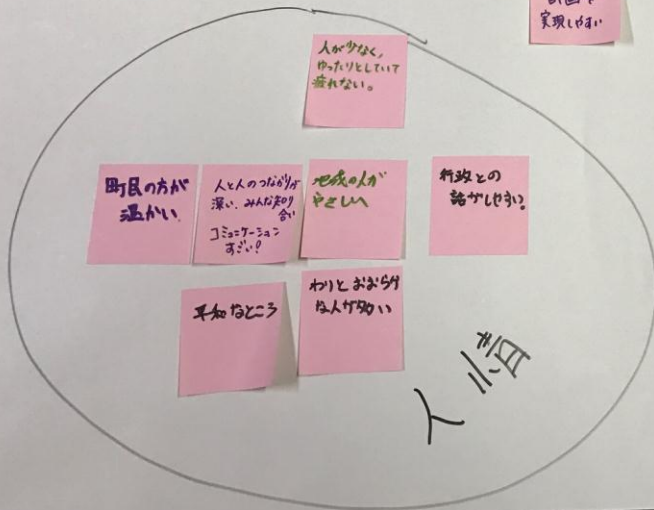
A 班

食



温泉
自費的に
お風呂がある

やりたい事
計画を
実現している

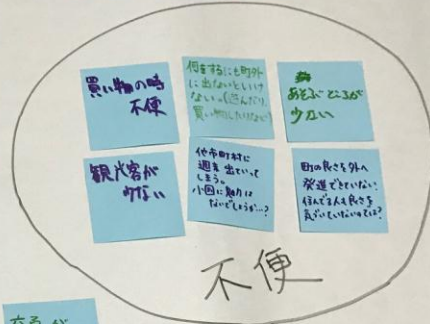


人

観光客の
増加

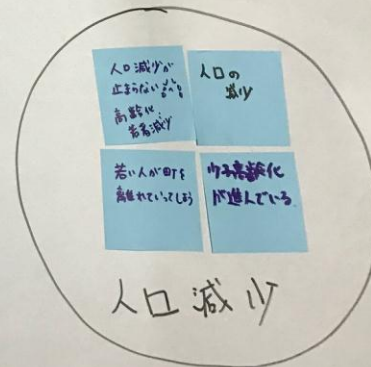
産業について
勉強中

外からの学生
が入学し
にくい
おもしろい



不便

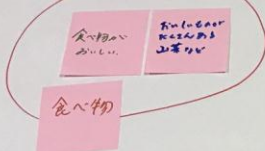
交通が
不便



人口減少

B 班

おいしい食べ物



介護施設が
あって高齢者に
優しい

介護施設

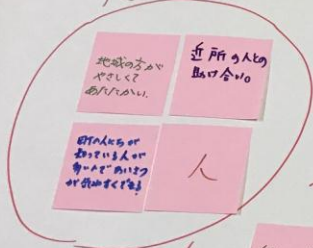
商業の経営

地域の人が
入って運営する
町民が運営

娯楽施設

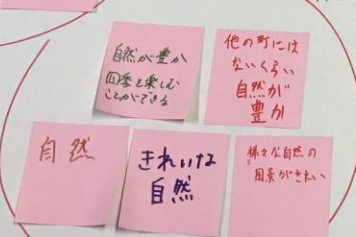
子ども(学生)の
場所が
ある
若者の施設
が利用できる
おもしろい
場所が
多い

人とのつながり



町民の
都市計画
がある

豊かな自然



おいしい

開校
には
学校の利用
がある

何かと
利用

少子高齢化

少子高齢化が
すすんでいる
老人社会に
なっている
若い人が
出ていっている
代わりの人

人口の減少
が止まらない
町外への
移住
人口

人口減少

小国高校



情報

町の情報
集まる場所
集まる場所
集まる場所

施設

遊べる施設
集まる場所
集まる場所

子育て支援
集まる場所
集まる場所

高齢者支援
集まる場所
集まる場所

E 王

後継者不足

山の伝統
後継者不足
後継者不足

文化

山の伝統
後継者不足
後継者不足

山の伝統
後継者不足
後継者不足

人とのつながり

人とのつながり
後継者不足
後継者不足

人とのつながり
後継者不足
後継者不足

人とのつながり
後継者不足
後継者不足

町の活性化

のさまたげ？

子どもが
少ない
(妊婦に)

若者が
少ない
(妊婦に)

地理的条件

企業、地域
が活動する
場所

交通の利便
性が高い

観光

観光名所
として

自然が
たくさんある

自然に
触れたい

自然に
触れたい

年齢	性別	こんな町であつたらいいな	各世代の傾向	まちの将来像
10代	男	・様々な世代の人が集まってお互いの価値観を共有しあえる町 ・小国の情報が発信されて町外からの観光客であふれる町	町の活気や賑わいを求める声が多く、人々が集い、交流が生まれる町が求められている。 また、町の魅力を積極的に発信し、人々を誘致することが期待されている。 将来選択についての声も聞かれ、やりたい事を町内でできるかどうかが関心事項である。	町の魅力を発信して内外から人々が集まり交流が生まれる、活気にあふれたまち
	女	・何をするにも選択肢があり、自分のやりたいことができる町 ・人と人とのつながりがあり、明るく活発な町		
	女	・自然豊かできれいな町 ・活気あふれる町 ・小国町の魅力を発信して「住みたい!」、「行きたい!」と思ってもらえるような町		
	男	・個人個人が思いやりを持てるような町 ・たくさんの人々と賑わうような町		
	女	・自然を利用して交流が生まれる町 ・賑やかで活気があふれるような町		
	男	・若い人でも気軽に入れる店(Ex.カラオケ)が少しでも多い町 ・新しい情報や良い所を発信し、良いイメージで知ってもらえる町		
20代	男	・若者が活躍できる町	働くことに関する意見が多く、働く場所の増加や、若者の活躍できる場がある町が求められている。また、子供や若者の声が賑やかであることなど、活気や賑わいが求められている。	働く場や仕事生まれ、若者がいきいきと暮らすことのできるまち
	女	・働く場所が増え、残りたいと思える町 ・町内の人がもっと良さを知り、自慢できる町		
	男	・起業家がたくさん集う町 ・音楽好きが集まる町		
	男	・夜になっても若者がワイワイしている町 ・子供たちの声がにぎやかな町		
30代	女	・自然豊かで観光的な町 ・住みやすい環境で子供の笑顔あふれる町	買い物などの利便性や、町内で結婚式、出産等ができる環境が求められている。また、町の豊かな自然をPRし人を誘致することや、親子、高齢者が参加できる交流イベントの開催などといった、町内でのイベントを通して、魅力的な町づくりが期待されている。	町の魅力を発信しながら様々な年代の交流が活発に行われ、あらゆる世代にとって暮らしやすいまち
	女	・楽しみがあって長生きしたくなる町 ・人が集まって賑やかな町		
	男	・欲しいものが、手ごろな価格で揃える事が出来る町 ・出産、結婚式が出来る町 ・自慢の自然が守られながら、皆にもみてもらえて、体感、共感してもらえて、残る人、来る人が増える町		
	女	・自然のよさが伝わり、自然大好きの人が多くなる町		
	女	・活気がある町 ・親子、高齢者の参加できる交流イベントが多く、楽しい町		
	男	・老人が外出したくなるような町 ・若者が好きな事を出来るような町		
	女	・小国の大自然を手軽に満喫できるスポットがたくさんある町 ・遊び場がたくさんあって、笑い声のあふれるまち		
40代	男	・自然と共生できる町 ・選んで住む町	買い物の利便性が求められるほか、町に住む個々人に役割があり、町を誇りに思うことが理想とされている。 また、町の魅力PRによる人の誘致や、子供が安全にのびのびと暮らせる町が求められている。	自然と共生する価値や、そこに住むことの誇りを大切にすまち
	男	・一人ひとりが自分に役割があると自信を持てる町 ・世界中から人が集まりたくなる町		
	女	・誇りを失わない町 ・わくわく感とまらない町		
	女	・町の中で欲しい物がそろう町 ・子供が安全に、のびのびと遊んだり学んだりすることができる町		
60代	女	・若い人たちも定住して、人口が増えて小国町が賑わっている ・センターにもエレベーターができて老人の人たちも活動できる ・いろいろなレストランができ、山菜や海のもの、肉等おいしいものがたくさんあり、他の市町村からも人が来て、小国町で買い物をしていくような町	利便性やバリアフリーの充実が求められるほか、企業誘致や観光客誘致にも期待されている。また、若者が定住し、活気あふれる町が求められている。	若者の定住や、観光・交流を通じて、地域社会の持続が図られるまち
	男	・企業の誘致増大で働く場を作り人口増と活性化が結びつく町 ・観光に力を入れ外地域からの誘客増につながる町		

班	町の良いところ		町の困ったところ	
A	食	・山菜やキノコなど自然が豊か ・山菜など森の食べ物が多い	不便	・買い物の時不便 ・観光客が少ない ・何をするにも町外に出ないといけない(遊んだり、他市町村に週末出て行ってしまう) ・遊ぶところが少ない ・町の良さを外へ発信できていない ・交通が不便
	人	・人が少なく、ゆったりとしていて疲れない ・地域の人が優しい ・わりとおおらかな人が多い ・行政との話がしやすい ・人と人の繋がりが深い ・平和なところ ・町民の方が温かい		
	自然	・自然が豊かで水がきれい ・温泉がたくさん ・災害が少ない	人口減少	・人口減少が止まらない ・少子高齢化 ・若い人が町を離れていってしまう
	その他	・くつろげるスペースが多い ・事業的にチャンスもある ・やりたい事計画を実現しやすい	その他	・外からの事業参入がしにくい、難しい ・耕作放棄地の増加
B	食	・食べ物おいしい(山菜など)	不便	・遊ぶ(集まる)場所が限られている ・若者の施設利用が少ない
	人	・地域の方が優しくてあたたかい ・近所の人との助け合い ・町の人達が知っている人が多いので挨拶が気安くできる。	人口減少	・少子高齢化がすすんでいる ・若い人の定住が少ない ・人口減少が止まらない ・町外への移住
	自然	・自然が豊かで四季を楽しむことができる ・様々な自然の風景がきれい		
	その他	・介護施設があつて高齢者に優しい ・都市計画がある ・ど田舎	その他	・他からの店が入ってきて小国町の店の経営が心配 ・閉校になった学校の利用 ・小国高校 ・何かと割れる
C	食	・米がおいしい ・水がおいしい ・何でも食べる ・裏庭でおいしい椎茸ができる	職	・やりたいことをやるのに相談できる人環境が少ない ・仕事を選ぶのに制限がある ・働く場所が少なく若い人たちが小国町からでていく
	人	・文化が新潟よりで、言葉がきれい、聞き取れる ・相手を知っているので仕事で失敗しても許してくれる ・地域のつきあいが深く、互いが当たり前挨拶する環境 ・自然を好む人が多く移住してきている ・価値観が揺らがない人が多く交流が面白い ・皆いろいろ出来るのがすごい	その他	・消極的なことが多い気がする ・お店が減っている ・覇気がない場所が多い ・買い物が楽しくない ・皆がいろいろなことを知りすぎている
	自然	・山の中の空間へのアクセスが簡単(スキー場、ハイキング、キャンプ、ラフティング) ・子供がのびのび遊べる(川で魚釣りなど) ・雪が好き ・薪をたくさん作ることができる ・つる細工など材料調達を直接できるのが嬉しい ・木質燃料の宝庫		
	生活	・ゆったりとした住まい環境を持つことができる ・庭で自由に空間を遊ぶことができる ・泡の湯で肌がよくなる ・弟切草がきく ・ひょうを食べると夏バテしない		
D	人	・地域内での交流がある ・人と人とのつながりが多い ・皆だいたい顔なじみ ・世代を超えたお祭りがある	不便	・公園がない ・遊べる場所が少ない ・土日は商店街が寂しい ・移住希望者が小国町の物件をネットで探しにくい ・空き家情報が少ない
	自然	・自然が多い、豊か ・星がよくみえる	職	・町外への就職が多い ・地元に残る若者が少ない ・多くの人が他県に出ていく
	その他	・クアーズ・テックのイルミネーション ・人が少ないので落ち着く		・子育て世代の交流が少ない、イベントが少ない
			その他	・砂防ダム等の設備の反面、自然が壊されていく
E	人	・お年寄りが元気 ・町民の繋がりが深い ・気さくに声をかけてくれる人が多い ・近所の仲がよくて、いつも気にかけてくれる	不便	・交通の利便性が低い ・遊べる施設がない、子供が外で遊べない ・図書館が狭い ・若者が集まる施設が少ない ・町の良い所はあっても地味でアピールしづらい ・情報発信、情報収集機能が整っていない
	自然	・自然がたくさんある ・温泉がある	人口減少	・人口減少を感じる ・若い世代の結婚願望が薄い ・近所に子供の数が少ない
	その他	・観光名所としてよい ・山の伝統が受け継がれている	その他	・企業誘致がなかなかできない ・山の伝統の後継者が少なくなりつつある